

チリ物流ミッション団の訪日及び報告会の開催 (大阪・関西万博の機会を活用した物流分野の日チリ交流の進展)

令和7年(2025年)9月1日

現在、日本で開催されている大阪・関西万博には世界中から多くの人が集まり、大きな盛り上がりを見せています。チリパビリオンや、同パビリオンで開催される各種ウィークイベントも成功裡に進んでおり、チリの魅力発信に繋がっています。

この万博の枠組の下で、6月9日から14日にかけてPro Chileにより「チリ物流ウィーク」が企画され、その期間中、運輸通信省のホルヘ・ダサ運輸次官を代表とする物流ミッション団(ProChile及びConecta Logísticaが連携)が訪日しました。このミッション団は、当館と連携し、日本の政府機関、民間企業、学術機関等と幅広く交流を行い、物流分野における日チリ間の新たな繋がりを築く貴重な機会となりました。

1 チリミッション団の訪日

同ミッション団には、チリの政府機関、民間企業、学術機関などから合計24名が参加しました。

同団は、古川国土交通副大臣とホルヘ・ダサ運輸次官のもと、日本の民間企業も参加する形で「日チリ物流セミナー」を開催し、両国の物流政策を議論しました。また、東京港、大阪港、東京貨物ターミナル駅といった日本の重要な物流拠点を視察するとともに、いくつかの日本企業を訪問し、先進的な取組を学びました。加えて、東京大学や日本ロジスティクスシステム協会(JILS)と学術交流を通じ、最新の研究や物流に関するビジョン等に関して議論を深めました。



古川副大臣挨拶
(日チリ物流セミナー)



集合写真
(日チリ物流セミナー)



パネルディスカッション
(日チリ物流セミナー)



東京港視察



東京大学等との学術交流



日本企業訪問

2 チリ物流ウィーク・ミッション団報告会

8月25日、当館は Conecta Logistica 及び ProChile と連携し、同ミッション団が日本で経験した学びを共有し、日本の物流に関する知識を深め、今後の協力の機会を広げるため、「チリ物流ウィーク・ミッション団報告会」を開催しました。この報告会には、ホルヘ・ダサ運輸次官、マベル・レバ Conecta Logistica 事務局長、パウリーナ・バルデラマ ProChile 副事務局長ほか、チリの物流・港湾関係の政府機関、民間企業、学術機関、メディア等が多数参加しました。会合では、チリ側から、今回の一連の活動の成果をベースに、将来に向けた両国の産学官様々な関係者の関係継続、一層の連携強化に対する期待への言及がありました。



伊藤大使挨拶

主賓記念撮影



ミッション団活動報告

パネルディスカッション

物流分野において、チリと日本は共通の課題を抱えており、両国が連携して取り組むべきテーマは数多く存在します。また、チリは、南米大陸横断回廊や各地の港湾強化、鉄道能力向上など、多くの開発プロジェクトを積極的に進めています。太平洋に面するチリは、日本を含むアジアとの玄関口であり、南米大陸の物流ハブとして、その物流能力強化は、強靱で安定した国際サプライチェーンの構築に資するものであり、我が国にとってもますます重要なものとなっています。

今回の訪日を契機とした交流が、今後の物流分野における両国の連携の深化、物流強化に繋がることを期待しています。